

講義科目名称： 看護学研究法Ⅱ

授業コード： 8410000200

英文科目名称： Nursing Research Methodology Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	共通科目
担当教員			
◎高柳智子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 30 時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎高柳 智子</p> <p>【所属】 新潟県立看護大学</p> <p>【研究室】 203</p> <p>【メールアドレス】 takatomo@niigata-cn.ac.jp</p> <p>【大学の科目区分】 共通科目</p> <p>【DP1】 ◎</p> <p>【DP2】</p> <p>【DP3】</p> <p>【DP4】</p> <p>【DP5】 ○</p>		
到達目標	<p>1 量的研究ならびにミックスメソッドについて、信頼性と妥当性を担保した研究設計を説明することができる。</p> <p>2 看護学研究者として必要な研究倫理について、研究プロセスに内包する倫理的課題と対応についてを説明することができる。</p>		
授業概要	<p>実証主義から発展し現象を記述・説明・予測・統制する量的研究手法や、質的デザインと量的デザインを統合したミックスメソッドについて理解を深める。加えて、研究する事象に即した測定ツールおよび収集・分析方法を信頼性・妥当性の側面から検討する。さらに、看護学研究者として、誠実で責任ある研究を推進していくために必要な研究倫理について探究する。</p>		
授業計画	<p>1-2 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：研究倫理 学修内容：研究者の行動規範、日本における倫理指針、倫理的行動に導く知識と技術 備考：高柳</p> <p>3 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：研究のパラダイムと方法論 学修内容：量的研究の哲学的背景とその適用 備考：高柳</p> <p>4 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：量的研究におけるデータの取り扱いと分析方法 学修内容：記述統計、推測統計、統計手法の選択と解釈 備考：高柳</p> <p>5-6 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：量的研究における厳密性の確保(信頼性・妥当性) 学修内容：データの厳密性の評価(信頼性・妥当性)の各側面と証拠 備考：高柳</p> <p>7-8 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：研究の枠組み 学修内容：量的研究における目的・課題・仮説の設定、枠組みのクリティーク 備考：高柳</p> <p>9-10 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：量的研究デザイン① 学修内容：研究目的に見合った量的研究デザイン 備考：高柳</p> <p>11 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：量的研究デザイン② 学修内容：研究目的に見合った量的研究デザイン 備考：高柳</p> <p>12 授業内容 授業形態：演習（遠隔授業） 学修課題：量的研究デザインを用いた研究論文の批判的分析 学修内容：量的研究論文のクリティーク</p>		

	<p>備考： 高柳</p> <p>13-14 授業内容 授業形態： 演習（遠隔授業） 学修課題： ミックスメソッド 学修内容： ミックスメソッドの種類と適用、学問的論点、ミックスメソッドを用いた研究論文のクリティーク</p> <p>15 備考： 高柳 授業内容 授業形態： 演習（遠隔授業） 学修課題： 学習のまとめ 学修内容： 今後の課題と展望 備考： 高柳</p>
事前・事後学習	<p>事前学修： 各回の授業時に次回の事前学修課題を提示する（初回授業の事前学修課題は開講前に周知する）。</p> <p>事後学修： 学修不足であった内容を復習するとともに、各回の学修内容について自身の研究への適用を考える。</p>
評価方法、評価基準	到達目標1～2に対して、学修課題のプレゼンテーション内容 60%、討議内容 40%により評価する。
テキスト	最新の文献や論文を使用するため、現時点では指定せず授業内で紹介する。
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	<p>オンライン授業を行います。</p> <p>毎回、授業内容に沿った予習および課題を行ったうえで、参加してください。</p>
教員からのメッセージ	学修課題を自ら探究するとともに、意見交換を通して学びを発展させていきましょう。
オフィスアワー	開講日は、可能な限り対応（それ以外はメール連絡も可能）